

[資料]

アフリカにおけるクーデタと選挙の動向

—1960—1999年—

落合 雄彦*

Coups d'état and Elections in Africa, 1960–1999

Takehiko OCHIAI

The aim of this article is to examine coups d'état and elections that occurred in sub-Saharan Africa between 1960 and 1999 with detailed figures and tables. Coups accounted for the greatest number of government changes in postcolonial sub-Saharan Africa, where there were 72 successful coups d'état during the period. However, there was a marked decrease in coups in the 1990s. In the 1970s, 23 coups occurred in Africa, but in the 1990s there were only 9 successful coups. In contrast, presidential and parliamentary elections based on multiparty democracy have dramatically increased since the end of the 1980s, and today constitutional changes of government through democratic elections are more common.

本小文は、サハラ以南アフリカ（以下、アフリカと略す）の諸国におい

* おちあい・たけひこ：東海大学非常勤講師 アフリカ政治
Part-time Lecturer of African Politics, Tokai University.

て、1960年から99年までの時期に発生したクーデタと同時期に実施された大統領・国政選挙の回数を図表化し、若干の解説を付した資料である。

1. クーデタ

表1は、1960年代から90年代までの40年間にアフリカ48カ国で生じた成功した軍事クーデタの発生年と回数を国別に示したものである。また、図1は、表1のデータを基にクーデタの回数を西・東・中部・南部アフリカの準地域毎とアフリカ地域全体に分けてグラフ化したものである。

表1および図1が示すとおり、1990年代までにアフリカ諸国では、成功したクーデタの事例、すなわちクーデタによって政権交代が実現した事例が、全体で72件みられた。これを年代別にみると、クーデタによる政権交代は、60年代に21回、70年代に23回それぞれ発生していたが、70年代をピークに減少に転じ、アフリカが深刻な経済停滞にみまわれた80年代には19回、さらにアフリカにとっての「民主化の時代」である90年代には9回へと減少している。特に、90年代に発生した9回のクーデタのうち、シエラレオネにおける92年、96年、97年の3回のクーデタは内戦下の特殊な状況において生じたものであり、また、マリにおける91年のクーデタは、軍部が強権的政権を打倒することで民主化を促す役割を果たした。したがって、この4回のクーデタを除くと、民主化に逆行するようなクーデタは、90年代の10年間にアフリカでは5回しか発生しておらず、それは70年代の実に4分の1程度の回数でしかない。今日のアフリカでは、クーデタ発生は明らかに沈静化の傾向を示しているといえる。

しかし、これを準地域別にみても、クーデタ発生に偏りがあることがわかる。図2は、1960年代から90年代までにアフリカ諸国で発生したクーデタの割合を準地域別に図示したものである。同図が示すとおり、アフリカ諸国におけるクーデタ成功の事例のうち58%（72回のうちの42回）までが西アフリカ諸国で集中的に発生している。これに対して、東アフリカは18%（13回）、中部アフリカは14%（10回）、そして、南部アフリカは10%（7

表1 アフリカ諸国における成功したクーデタ（発生年と回数）

年代		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	小計 (回数)
国名						
西 ア フリ カ	ベニン	1963, 1965, 1965, 1967, 1969	1972			6
	ブルキナファソ	1966	1974	1980, 1982, 1983, 1987		6
	ナイジェリア	1966, 1966	1975	1983, 1985		5
	ガーナ	1966	1972, 1978, 1979	1981		5
	シエラレオネ	1967, 1968			1992, 1996, 1997	5
	モーリタニア		1978, 1979	1980, 1984		4
	トーゴ	1963, 1967				2
	ニジェール		1974		1996	2
	マリ	1968			1991	2
	ギニア			1984		1
	ギニア・ビサウ			1980		1
	リベリア			1985		1
	ガンビア				1994	1
	コートジボアール				1999	1
カボベルデ					0	
セネガル					0	
小計 (回数)		14	9	12	7	42
東 ア フリ カ	ブルンジ	1966	1976	1987	1996	4
	スーダン	1969		1985, 1989		3
	ウガンダ		1971	1980, 1985		3
	エチオピア		1974			1
	ルワンダ		1973			1
	タンザニア	1964(ザンジバル)				1
	ジブチ					0
	エリトリア					0
	ソマリア					0
	ケニア					0
	小計 (回数)		3	4	5	1
中 部 ア フリ カ	中央アフリカ	1966	1979	1981		3
	コンゴ共和国	1968	1977, 1979			3
	コンゴ民主共和国	1960, 1965				2
	赤道ギニア		1979			1
	チャド		1975			1
	カメルーン					0
	ガボン					0
	サントメ・プリンシペ					0
小計 (回数)		4	5	1	0	10

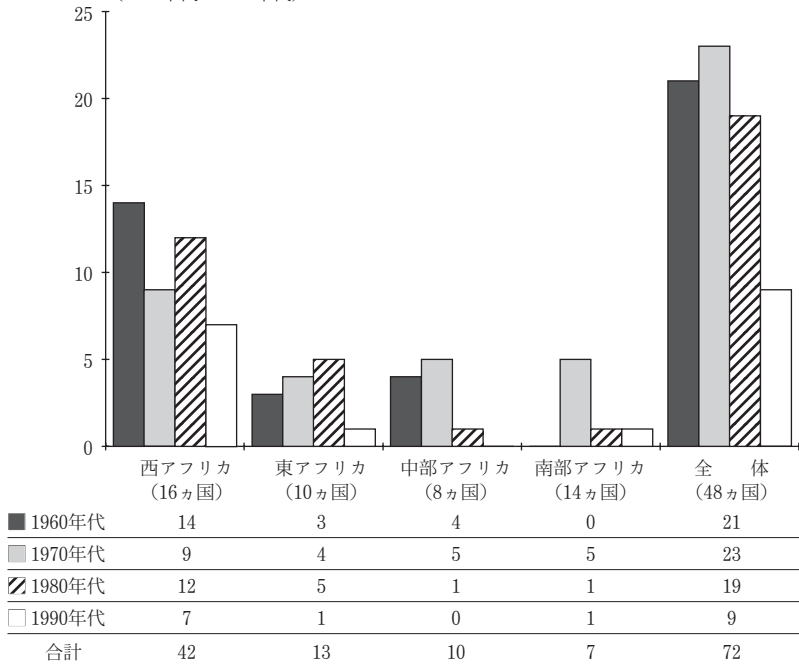
表1 続き

年代 国名		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	小計 (回数)
		コモロ		1975, 1978		1999
レソト			1970	1986		2
マダガスカル			1972			1
セーシェル			1977			1
アンゴラ						0
ボツワナ						0
マラウイ						0
モザンビーク						0
ナミビア						0
南アフリカ						0
ザンビア						0
ジンバブエ						0
モーリシャス						0
スワジランド						0
小計 (回数)		0	5	1	1	7
合計 (回数)		21	23	19	9	72

(出所) Dieter Nohlen, Michael Krennerich, and Bernhard Thibaut, eds., *Elections in Africa: A Data Handbook*, Oxford: Oxford University Press, 1999; Claude E. Welch, Jr., "The Military Factor in West Africa: Leadership and Regional Development," in Julius Emeka Okolo and Stephen Wright, eds., *West African Regional Cooperation and Development*, Boulder, San Francisco, and Oxford: Westview Press, 1990, pp. 176-178; *Africa South of the Sahara 2001*, thirtieth edition, London: Europa Publications, 2000 を基に筆者作成。

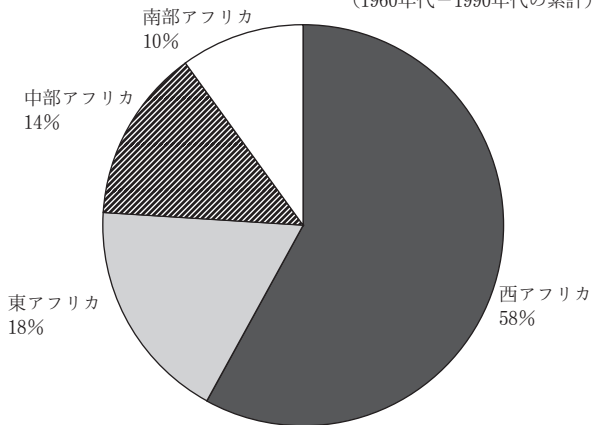
回)の割合でしかない。コモロ、レソト、マダガスカルなどを例外とすれば、クーデタによる政権交代をほとんど経験してこなかった南部アフリカ諸国とは対照的に、西アフリカ諸国では、独立直後からクーデタが頻発し、99年までにカボベルデとセネガルを除く14カ国がクーデタによる政変を経験した。特に、ベニンとブルキナファソは各6回、ナイジェリア、ガーナ、シエラレオネは各5回、モーリタニアは4回のクーデタを経験している。こうした西アフリカ諸国におけるクーデタ発生を年代別にみると、60年代に14回発生していたクーデタが70年代には9回に減少し、その後80年代に12回へと一旦増加に転じるものの、90年には7回まで減少している。このように西アフリカにおけるクーデタ発生は、アフリカ諸国全体の傾向と同様に終息化しつつあるといえる。しかし、90年代の西アフリカでは、それまでクーデタによる政権交代がみられなかったガンビアで94年に、コートジボアールで99年にそれぞれ軍事クーデタが発生するなど、懸念材料も

図1 アフリカ諸国における成功したクーデタ数（準地域別）の推移
（1960年代-1990年代）



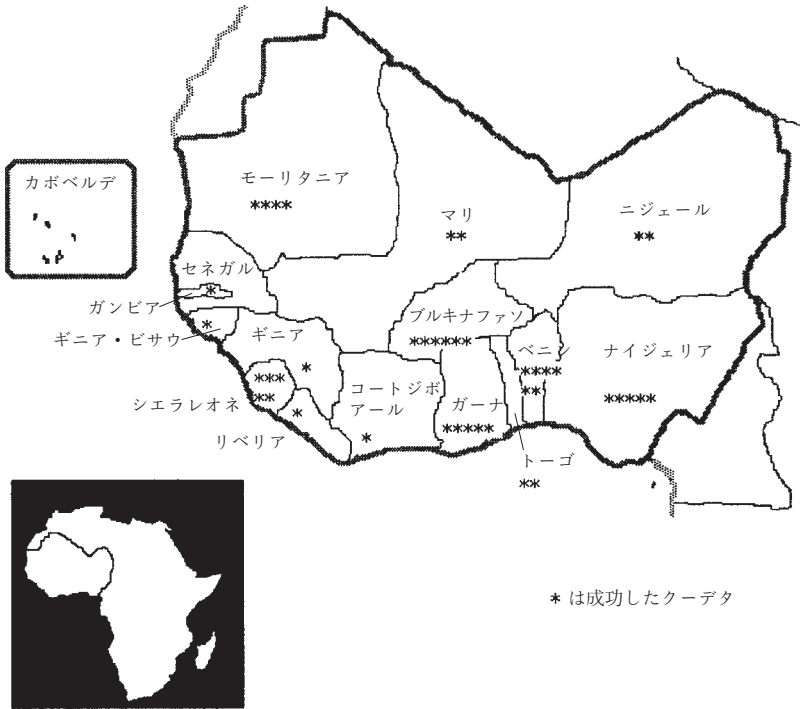
（出所） 筆者作成.

図2 アフリカ諸国における成功したクーデタ数の準地域別割合
（1960年代-1990年代の累計）



（出所） 筆者作成.

図3 西アフリカにおける成功したクーデタ（1960年代-1990年代）



みられる。

2. 大統領選挙

表2は、1960年代から90年代までにアフリカ諸国で行われた大統領選挙の実施年と回数を国別に示したものである。また、図4は、表2のデータを基に大統領選挙の回数を準地域毎とアフリカ地域全体に分けてグラフ化したものである。

表2および図4が示すとおり、アフリカでは1960年代から90年代までの40年間に合計177回の大統領選挙が実施された。しかし、80年代までのアフリカにおける大統領選挙は、そのほとんどが一党制のもとで実施された、

表2 アフリカ諸国における大統領選挙（実施年と回数）

年代		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	小計 (回数)
国名						
西 ア フ リ カ	ベニン (1960)	1960, 1964, 1968, 1968	1970		1991, 1996	7
	ブルキナファソ (1960)	1965	1978		1991, 1998	4
	ナイジェリア (1960)		1979	1983	1993, 1999	4
	ガーナ (1957)	1960	1979		1992, 1996	4
	シエラレオネ (1961)			1985	1996	2
	トーゴ (1960)	1961, 1963	1979	1986	1993, 1998	6
	ニジェール (1960)	1965	1970	1989	1993, 1996, 1999	6
	マリ (1960)		1979	1985	1992, 1997	4
	ギニア (1958)	1961, 1968	1974	1982	1993, 1998	6
	ギニア・ビサウ (1974)				1994, 1999	2
	リベリア (1847)	1963, 1967	1971, 1975	1985	1997	6
	ガンビア (1965)			1982, 1987	1992, 1996	4
	コートジボワール (1960)	1960, 1965	1970, 1975	1980, 1985	1990, 1995	8
	カボベルデ (1975)				1991, 1996	2
	モーリタニア (1960)	1961, 1966	1971, 1976		1992, 1997	6
セネガル (1960)	1963, 1968	1973, 1978	1983, 1988	1993	7	
小 計 (回数)	19	16	13	30	78	
東 ア フ リ カ	ブルンジ (1962)			1984	1993	2
	スーダン (1956)		1971, 1977	1983	1996	4
	ウガンダ (1962)				1996	1
	エチオピア				1999	1
	ルワンダ (1962)	1965, 1969	1978	1983, 1988		5
	タンザニア (1964) (タンガニーカ:1961) (ザンジバル:1963)	1962(タンガニーカ) 1965	1970, 1975	1980, 1985	1990, 1995	8
	ジブチ (1977)			1981, 1987	1993, 1999	4
	エリトリア (1993)					0
	ソマリア (1960)			1986		1
	ケニア (1963)	1969	1974, 1979	1983, 1988	1992, 1997	7
	小 計 (回数)	5	7	11	10	33
中 部 ア フ リ カ	中央アフリカ (1960)	1964		1981	1992, 1993, 1999	5
	コンゴ共和国 (1960)	1961			1992	2
	コンゴ民主共和国 (1960)		1970, 1977	1984		3
	赤道ギニア (1968)	1968		1982, 1989	1996	4
	チャド (1960)	1969			1996	2
	カメルーン (1960)	1965	1970, 1975	1980, 1984, 1988	1992, 1997	8
	ガボン (1960)	1961, 1964, 1967	1973, 1979	1986	1993, 1998	8
	サントメ・プリンシペ (1975)				1991, 1996	2
小 計 (回数)	8	6	8	12	34	

表2 続き

	国名	年代				小計 (回数)
		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	
南部 ア フリ カ	コモロ (1975)		1978	1984	1990, 1990, 1996	5
	レソト (1966)					0
	マダガスカル (1960)	1965	1972	1982, 1989	1992, 1996	6
	セーシェル (1976)		1979	1984, 1989	1993, 1998	5
	アンゴラ (1975)				1992	1
	ボツワナ (1966)					0
	マラウィ (1964)				1994, 1999	2
	モザンビーク (1975)				1994, 1999	2
	ナミビア (1990)				1994, 1999	2
	南アフリカ (1910)					0
	ザンビア (1964)	1968	1973, 1978	1983, 1988	1991, 1996	7
	ジンバブエ (1980)				1990, 1996	2
	モーリシャス (1968)					0
	スワジランド (1968)					0
	小 計 (回数)	2	5	7	18	32
	合 計 (回数)	34	34	39	70	177

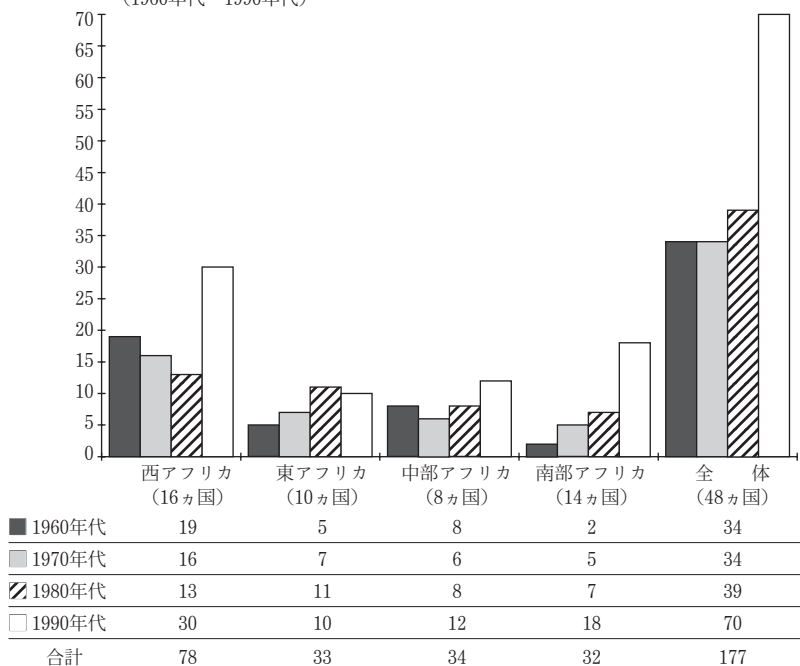
(注) 本表には、選挙実施後に結果が無効とされた選挙や開票作業が途中で中止された選挙を含む。本投票のほかには決選投票が行われた場合には、両者を合わせて1回に数え、本選挙の実施年のみを記した。独立以前であっても1960年以降に実施された選挙を含む。カッコ内は独立年を示す。

(出所) Dieter Nohlen, Michael Krennerich, and Bernhard Thibaut, eds., *Elections in Africa: A Data Handbook*, Oxford: Oxford University Press, 1999; *Africa Research Bulletin, Political Series*, 各号; *Africa South of the Sahara 2001*, thirtieth edition, London: Europa Publications, 2000 を基に筆者作成。

大統領候補者1名の非競合的かつ非民主的な選挙にすぎず、それは国民の意思を問うというよりも、支配者が支配の正統性を自ら創出あるいは演出するために国民を動員するためのものにほかならなかった。

しかし、1990年代に多くのアフリカ諸国で一党制や軍事政権から複数政党制への移行が実現すると、質的にも、複数候補者による競合的な大統領選挙が実施されるようになり、量的にも、大統領選挙実施回数は80年代の39回から90年代には70回へと約80%増加した。今日、紛争下にある一部の国などを除けば、アフリカにおいても複数政党制に基づいた大統領選挙が、少なくとも制度的にはかなり定期的に行われるようになっている。

図4 アフリカ諸国における大統領選挙実施回数（準地域別）の推移（1960年代-1990年代）



（出所） 筆者作成。

3. 国政選挙

表3は、1960年代から90年代までにアフリカ諸国で実施された国政選挙の実施年と回数を国別に示したものである。また、図5は、表3のデータを基に国政選挙の実施回数を準地域毎とアフリカ全体に分けてグラフ化したものである。

表3および図5が示すとおり、過去40年間にアフリカ諸国で実施された国政選挙の回数は、少なくとも286回にのぼる⁽¹⁾。

このうち、1980年代までの選挙は、多くの場合、一党制下で実施されたものであったが、それには大きく分けて非競合型と半競合型の2つのタイプがみられた。

表3 アフリカ諸国における国政選挙（実施年と回数）

国名		年代					小計 (回数)
		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代		
西 ア フリ カ	ベニン (1960)	1960, 1964	1979	1984, 1989	1991, 1999	7	
	ブルキナファソ (1960)	1965	1970, 1978		1992, 1997	5	
	ナイジェリア (1960)	1964	1977, 1979	1983	1992, 1994, 1999	7	
	ガーナ (1957)	1969	1979		1992, 1996	4	
	シエラレオネ (1961)	1962, 1967	1973, 1977	1982, 1986	1996	7	
	トーゴ (1960)	1961, 1963	1979	1985	1990, 1994, 1999	7	
	ニジェール (1960)	1965	1970	1989	1993, 1995, 1996, 1999	7	
	マリ (1960)	1964	1979	1982, 1985, 1988	1992, 1997, 1997	8	
	ギニア (1958)	1963, 1968	1974		1995	4	
	ギニア・ビサウ (1974)		1972, 1976	1984, 1989	1994, 1999	6	
	リベリア (1847)	不明	不明	1985	1997	2	
	ガンビア (1965)	1966	1972, 1977	1982, 1987	1992, 1997	7	
	コートジボアール (1960)	1960, 1965	1970, 1975	1980, 1985	1990, 1995	8	
	カボベルデ (1975)		1975	1980, 1985	1991, 1995	5	
	モーリタニア (1960)	1965	1971, 1975, 1976		1992, 1996	6	
	セネガル (1960)	1963, 1968	1973, 1978	1983, 1988	1993, 1998	8	
小計 (回数)	19	24	21	34	98		
東 ア フリ カ	ブルンジ (1962)	1961, 1965		1982	1993	4	
	スーダン (1956)	1965, 1968	1974	1981, 1986	1996	6	
	ウガンダ (1962)	1961, 1962, 1962		1980	1994, 1996	6	
	エチオピア	1961, 1965	1973	1987	1994, 1995	6	
	ルワンダ (1962)	1961, 1965, 1969		1981, 1983, 1988		6	
	タンザニア (1964) (タンガニーカ:1961) (ザンジバル:1963) (ザンジバル:1963) (ザンジバル:1965)	1960(タンガニーカ) 1961(ザンジバル) 1961(ザンジバル) 1963(ザンジバル) 1965	1970, 1975	1980, 1985	1990, 1995	11	
	ジブチ (1977)		1973, 1977	1982, 1987	1992, 1997	6	
	エリトリア (1993)					0	
	ソマリア (1960)	1960, 1964, 1969	1979	1985		5	
	ケニア (1963)	1963, 1966, 1969	1974, 1979	1983, 1988	1992, 1997	9	
	小計 (回数)	23	9	15	12	59	
中 部 ア フリ カ	中央アフリカ (1960)				1998	1	
	コンゴ共和国 (1960)	1963	1973, 1979	1984, 1989	1992, 1993	7	
	コンゴ民主共和国(1960)	1960, 1965	1970, 1975, 1977	1982, 1987		7	
	赤道ギニア (1968)	1968		1988	1993, 1999	4	
	チャド (1960)	1962, 1963, 1969			1990, 1997	5	
	カメルーン (1960)	1964	1970, 1973, 1978	1983, 1988	1992, 1997	8	
	ガボン (1960)	1961, 1964, 1967	1973	1980, 1985	1990, 1996	8	
	サントメ・プリンシペ (1975)				1991, 1994, 1998	3	
小計 (回数)	11	9	9	14	43		

表2 続き

	年代		1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	小計 (回数)
	国名						
南部 アフリカ	コモロ (1975)			1972	1982, 1987	1992, 1993, 1996	6
	レソト (1966)	1965		1970		1993, 1998	4
	マダガスカル (1960)	1960, 1965		1970, 1977	1983, 1989	1993, 1998	8
	セーシェル (1976)			1974, 1979	1983, 1987	1992, 1993, 1998	7
	アンゴラ (1975)					1992	1
	ボツワナ (1966)	1965, 1969		1974, 1979	1984, 1989	1994, 1999	8
	マラウィ (1964)	1961, 1964		1971, 1976, 1978	1983, 1987	1992, 1994, 1999	10
	モザンビーク (1975)					1994, 1999	2
	ナミビア (1990)				1989	1994, 1999	3
	南アフリカ (1910)	1961, 1966		1970, 1974, 1977	1981, 1984, 1987, 1989	1994, 1999	11
	ザンビア (1964)	1964, 1968		1973, 1978	1983, 1988	1991, 1996	8
	ジンバブエ (1980)				1980, 1985	1990, 1995	4
	モーリシャス (1968)	1967		1976	1982, 1983, 1987	1991, 1995	7
	スワジランド (1968)	1967		1972, 1978	1983, 1987	1993, 1998	7
	小計 (回数)		13	19	24	30	86
	合計 (回数)		66	61	69	90	286

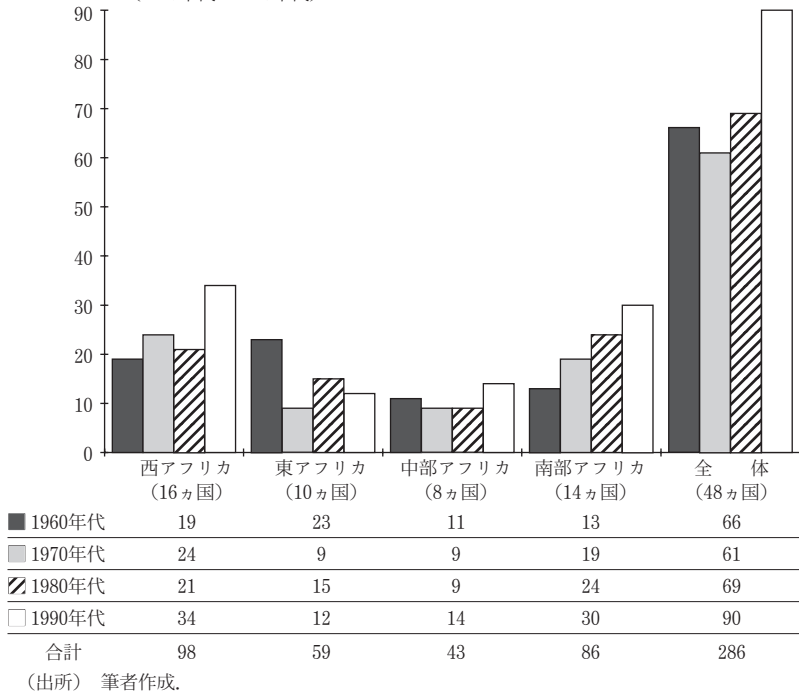
(注) 本表には、選挙実施後に結果が無効とされた選挙、開票作業が途中で中止された選挙、制憲議会選挙を含むが、不正などにより一部選挙区のみやり直し選挙、議員欠員に伴う補欠選挙、国会議員や地方議会議員などによる上院・制憲議会・地方議会選挙などは含まない。本投票のほかに決選投票が行われた場合には、両者を合わせて1回に数え、本選挙の実施年のみを記した。独立以前であっても1960年以降に実施された選挙を含む。カッコ内は独立年を示す。

(出所) Dieter Nohlen, Michael Krennerich, and Bernhard Thibaut, eds., *Elections in Africa: A Data Handbook*, Oxford: Oxford University Press, 1999; *Africa Research Bulletin, Political Series*, 各号; *Africa South of the Sahara 2001*, thirtieth edition, London: Europa Publications, 2000 を基に筆者作成。

非競合型の国政選挙とは、一党制のもとで国会議員候補者が1名しかいない形骸化した選挙をいう。こうした選挙の目的は、当然のことながら民意の反映にあるのではなく、政権側が国民糾合を促進したり、支配の正統性を形式的に得ることにあった。たとえば、かつてのザイール（現コンゴ民主共和国）では、すべての国民が単一政党である革命人民運動の党員となるのが義務づけられており、そこにおける国政選挙実施の一つの目的とは、投票行動を通して国民に党員意識を植え付けることにあった。

他方、一党制下における半競合的選挙とは、単一政党の複数の党員を候補者に指名し、そうした複数候補者間での限定的な競合を容認する選挙である。このタイプの選挙の利点としては、支配者側は選挙結果にかかわり

図5 アフリカ諸国における国政選挙実施回数（準地域別）の推移
（1960年代－1990年代）



なく政権を維持できる一方で、有権者に限定的な選択の自由を与えることができること、選挙を通して優れた党員の発掘や取捨選択を行えること等が挙げられる。こうした半競合的な国政選挙は、タンザニア、ケニア、ザンビアなどで実施された。

しかし、1990年代に民主化が進展したことで、こうした一党制下での非競合的あるいは半競合的選挙はアフリカの政治風景から姿を消し、代わって複数政党制に基づくより競合的な選挙が実施されるようになってきている。また、量的にも、60年代から80年代までの間はそれぞれ60－70回程度であった国政選挙実施回数が、90年代には90回へと約30%増加し、国政選挙は、総じてより多くの国で、より定期的 to 実施されるようになってきたといえる。しかし、準地域毎にみると、唯一東アフリカにおける国政選挙実施回数が80年代から90年代にかけて減少傾向を示しており、それは、ブルンジ、

ルワンダ、ソマリアなどの諸国が90年代に紛争を経験したためである。

結びに代えて

以上、1960–1999年の間にアフリカ諸国で発生したクーデタと同時期に実施された大統領・国政選挙の状況を図表化し、概観してきた。

少なくとも1980年代まで、アフリカにおける政権交代は、クーデタに代表される非合法的手段によるのがごく一般的であった。もちろん、合法的手段による政権交代もまったくみられなかったわけではないが、そのほとんどは、一党制といった権威主義的体制のもと、国家指導者の死去や引退に伴ってその後任が政権の座に就くといった類の非民主的なものにすぎなかった（たとえば、78年、ケニアではジョモ・ケニヤッタ大統領の死去に伴って、政権の座が同じケニア・アフリカ国民同盟のダニエル・アラブ・モイへと継承された）。しかし、クーデタは独立後長年にわたって政権交代の主要な手段であったが、前述のとおり、90年代の「民主化の時代」を契機に、その発生は急速に減少傾向を強めるようになる。そして、これに代わって、90年代には複数政党制に基づく選挙が広く実施されるようになり、今日のアフリカでは、民主的選挙による政権交代の事例がかなり広くみられるようになってきている。

本小文の図表からは、こうしたアフリカにおける「bullet（銃弾）からballot（投票）へ」という政権交代手段の移行プロセスを読み取ることができよう。

(注)

- (1) 1960–84年の間にリベリアで実施された国政選挙は含まないため、アフリカ諸国における実際の国政選挙実施回数は286回を若干上回る。